

議会瑞風

6月定例会 6/12～6/28

下水道料金返却など補正予算

六月定例会が12日から26日まで開会されました。木次団地解体請負契約の締結、市民バス（58人乗り）1台の買い替え契約の他、補正予算6件、農業委員会委員（19名、左表上）の同意案件等を審議し可決しました。

地区	氏名（敬称略）	木次町	小田川 清
大東町	小山 益男	板持 齊	
	林 明夫	鳥屋 耕次	
	加藤 一郎	佐藤 博子	
	高橋 美佐子	石原 公夫	
	三原 治雄	田部 博明	
	三島 輝昭	堀江 広孝	
	佐藤 正範	川角 茂	
加茂町	嘉本 輝雄	岡田 稔	
	高橋 一裕	神田 壽規	

浄化槽の不適切管理に係る使用料返還金

対象期間	1ヶ月～36ヶ月
対象合併処理浄化槽	129基 133世帯
返金額	946千円（300円/件～80,900円/件）

補正予算では、生活排水処理事業特別会計で浄化槽の不適切管理に起因する下水道使用料の返還金94万6千円（右表下）が計上され可決しました。

（三月定例会の一般質問で浄化槽管理を巡る法令違反を取り上げた時点では単なる事務ミス、使用料金は返金しない、との答弁でした。その後、市民の方から問責書、住民監査請求が提出され、相前後して市も分限懲戒委員会を立ち上げ調査と処分を



手前右が完成した新庄住宅団地20区画
左側から上方向に赤川 中央上に大東小学校

大東町新庄地内に雲南市土地開発公社が手掛けた住宅団地が完成し、分譲が始まりました。人口減少対策が最重要課題の雲南市です。大東小学校にも近いなど立地条件が進むことが期待されます。

行いました。また、市は雲南保健所から厳重注意書を受けました。こうした経緯を受け、使用料金を返金するものです。その他の補正予算は、一般会計で海潮中学校統合に伴うスクールバス1台（29人乗り）購入費用1千1百99万6千円、マイナンバーカード普及推進のための業務委託料5百44万8千円、住民税非課税世帯等臨時特別給付金1億1千6百55万9千円などが計上され、全ての議案を可決しました。

発行
中林たかし事務所

雲南市加茂町神原 733-4
電兼FAX 49-6373



平成29年、大東地区自治振興協議会等から住宅団地の整備要望が出され、事業化が決定しました。その後、約6年の歳月をかけ完成したものです。同団地は総区画数20区画、1区画の平均面積は234・24m²、平均分譲価格はmあたり23千円です。

マイナカードと健康保険証の一体化

来秋に現行の保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化することが予定されています。また、行政からの給付金受け取り口座も指定することが出来ます。しかし、マイナンバーカードへのひも付け作業を巡っては全国各地でトラブルが発生しており国民の不安が高まっています。今までのところ、雲南市では一体化を巡るトラブルは発生していない、とのことでした。

保険証との一体化手続きは、マイナカード、市役所ロビー中央にあるブース、各総合センターで出来ます。手続きにより最大2万円分のポイントが付与されますが、ポイントを貰うためには今年9月までに手続きしなければなりません。締切近くになると殺到することが予想されます。早めの手続きが必要です。

先日、私も市役所で手続きをしましたが時間もかからず親切に対応してもらいました。また、雲南市立病院でマイナンバーカードを保険証代わりに使つてみました。顔認証機能はエラー続きで暗証番号方式に切り替えたほか、医療費計算に少し時間がかかりました。使う方も受付け窓口も慣れてくれば問題なさそうです。

デジタル化は世界の流れであり、日本もこれ以上遅れることはできません。マイナンバーカード1枚で様々なことが管理できることになることは、個人にとつても便利であり、また、行政の効率化を図ることにもつながります。まずは、マイナンバーカードへの全面移行をきちんとした形で

公表時期	場所	事案	概要
令和4年2月	大東総合センター	公金横領	自治振興協議会の資金282万円を横領懲戒免職
令和5年3月	水道局	法令違反	浄化槽法等法令違反浄化槽使用者が使用、料金を納付しているにもかかわらず管理措置を行わなかった
令和5年5月	市民環境部	免許証期限切れ	免許証失効しているにもかかわらず1年以上にわたり公用車等運転
令和5年6月	加茂総合センター	法令違反	令和2年、公共工事の解体工事で出た有害物質PCBを含有する変圧器を許可のない産廃業者に処分委託
令和5年6月	市民環境部	徴税ミス	確定申告データを市県民税に反映すべきところ、事務ミスで140人の納税者に賦課誤り

最近、雲南市役所の不祥事が相次いでいます。令和以降の主なものは左表の通りです。最近、特に多い状況であり、また、他自治体と比べても多い印象です。

相次ぐ不祥事

「うつかりミス」もありますが、悔つてはいけません。ハインリッヒの法則（※）というのがあります。「うつかり」が重大事故につながる危険性があります。また、深刻なのは公務員としての職業意識・倫理観が欠如しているのではないか、担当者として熟知しておかなければならぬ法令や事務手順等が蔑ろにされていいなか、心配です。目先の対策は勿論、不祥事が頻発する職場風土を改善しなければなりません。また、職員数が足りているか、そうせん。また、職員数が足りているか、そうした検証も必要です。

※ハインリッヒの法則＝ヒヤリハットの法則ともいえます。1件の重大事故の裏には29件の軽微な事故と300件の怪我に至らない事故がある、というものでハインリッヒが労働災害を統計分析した結果です。

できることが大前提です。政府は国民の不安を早急に払拭することが必要です。